



wakayama  
univ.

国立大学法人  
和歌山大学



# 和歌山大学 南紀熊野サテライト 2020年度 事業総括書

2021年3月

和歌山大学 南紀熊野サテライト

# 南紀熊野サテライト事業総括 報告書 2020年度

## 目 次

### 1、はじめに

南紀熊野サテライト 2020 年度の事業概要と課題	1
---------------------------	---

### 2、具体的活動成果・事業実施状況

【1】 高等教育部門／授業実施状況／主催講座	2
【2】 生涯学習部門／高大連携部門	8
【3】 地域研究／本学授業講義支援／学生、同窓会活動支援	9
【4】 地域連携／産学官連携部門／地域からの相談／広報活動	11
【5】 (本学防災対策本部分室の活動)	12
【6】 運営基盤の強化／視察受入、研修参加等	12

3、あしがき	14
--------	----

4、参考資料 ( 広報チラシ一覧、新聞掲載資料一覧 )	
-----------------------------	--

## はじめに

### 開設15周年！受講者が地域の中核で活躍！コロナ禍でも学びを止めない支援！

和歌山大学南紀熊野サテライトは、2005年4月に「地域型サテライト」として設置されて15年が経過。サテライトで学んだ受講者が地域で中核になって活躍している。「南紀熊野観光塾」や、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会からの寄附講義「世界農業遺産」の修了生の活躍事例では、住民主導型事業を起案して大学生や高校生、中学生と連携して地域の産業を学ぶ取り組みの提案や、地域での学生演習の受け入れ対応。小学生向けの学習教材の作成提案と利用者調査をするなど、自ら学んだ知識を活用して地域の次世代の人材育成をする側になっており開設当初に目的としてきた「**知の循環**」に繋がっている。

高等教育では、コロナ禍の対面での学習機会設置が困難となり、前期期間は募集広報に入っていた授業や講座の実施を中止せざるを得なかったが、地域での学びを継続設置するため、後期期間（秋頃）からは、遠隔でのオンライン授業を実施。学生の地域への来訪機会も作れなくなったが、地域学習をしたい学生に、オンラインでの生配信で、地域の様子を画面越しで伝えたり、地域の実践者と直接会話できる機会として「オンラインカフェ」を複数回の実施をするなど年間を通して、自治体職員、観光商工業、経営者、地域住民、大学生等多数の学習参加を得ている。

また運営面では、南紀熊野サテライト連携協議会にて「**第三期アクションプラン**」を進捗確認しながら実施をしている。15周年を機に、経年実施の「**ニーズ調査アンケート**」を、自治体、研修担当、住民、教員、受講者などを対象に調査。調査結果を次年度以降の活動に反映させて、紀南地域の拠点として更に充実した教育研究活動、地域振興活動に繋げる。この報告書において2020年の取り組みを総括する。

## 2020年度の特徴・課題（※機首に定めた重点項目の取り組みから）

### 【特徴】

#### （1）実践力のある人材育成、ニーズに合った多様な学習機会を設置

地方創生に資する「南紀熊野観光塾」を継続実施。全国から観光や地域経営を学びに来る塾となっている。今期はコロナ禍で、県外者と近隣住民を分けて参加できるように「オンライン観光塾」を別途、包括連携先の民間企業（株式会社南紀白浜エアポート）と共に実施した。

#### （2）高校との連携強化、学生のフィールド教育支援・地域情報提供

大学生と高校生が共同で地域での調査、学習機会の共有（世界農業遺産）  
紀州材を活用して小学生が夏休み工作を自宅で出来る事業を、高校、大学、民間企業が連携して実施(木育)

#### （3）産学連携、共同研究、教育研究プロジェクトの支援

地域の企業や教育関連と連携した取り組みを継続実施（木育事業等）

#### （4）同窓会との連携

15周年を機に、同窓会長から今後の同窓会運営に関して、同窓生から教育関係者OBを抽出して意見交換。  
次年度より、紀南の大自然の中で地域の価値を若年層が学ぶ自然科学の学習機会の事業を計画中。

### 【今後の課題】

（1）教育研究活動による「地域発展モデルの構築」と更なる連携推進で「知の循環」を目指す。

（2）学内外の支援組織体制の構築に向けて情報の共有と活用を推進。

（3）サテライトを拠点として、地域で活動する学生、同窓会組織、小中高大等の交流推進に貢献。

（4）学内外へ大学活動とサテライトの認知向上のための戦略的な広報活動。学内への情報発信を強化。

## 【1】 高等教育部門／授業実施状況／主催講座

### 1-1 高等教育（大学院・学部授業）関係

大学院5科目（内前期3科目中止）、学部7科目（内前期3科目中止）高校生を含む後期受講の合計88名  
 ※後期はオンライン授業になり、社会人受講生の申請者数は減少に転じたが本学の学生受講が増加した。

令和2年度 南紀熊野サテライト受講生申請状況一覧

区分	開設	授業科目名	担当教員	担当学部	受講者数			合計
					サテライト	修士	高校生	
大学院	前期	現代の金融・証券市場	築田 他3名	経済学部	開講中止	-		-
		大人のスポーツ老年学入門	彦次 他2名	教育学部	開講中止	-		-
		データサイエンスのための統計学	大井 達雄	観光学部	開講中止	-		-
	後期	金融トラブルと法的解決	吉田 雅章	経済学部	4	-		4
		現代社会における知的情報通信システム	風間 他4名	システム	3	-		3
					合計			7

区分	開設	授業科目名	担当教員	担当学部	受講者数			合計
					サテライト	大学生	高校生	
学部	前期	地域暮らしの法律学D	吉田 雅章	経済学部	開催中止	-	-	-
		熊野郷土学2C	此松 他6名	オムニバス	開催中止	-	-	-
		地域づくり理論と実践A（通年）	藤田 武弘	観光学部	開催中止	-	-	-
	後期	現代社会と宗教・心のアツかい方	藤永 他4名	オムニバス	5	16	-	21
		「ことば」の哲学	天野 雅郎	教養の森	10	10	-	20
		熊野郷土学2C	此松 他5名	オムニバス	6	11	2	19
		地域づくりの理論と実践A	藤田 武弘	観光学部	13	8	-	21
					合計			81

※オムニバス（学部複合での開催の意味）

総合計	88
-----	----



オンライン授業の様子（大学院）



オンライン授業の様子（学部）

《実施概要》 ※特徴的なものを赤文字表記

① 大学院科目、学部科目の概要

《前期は中止。後期はオンライン授業にて実施》

学部科目は体系的な学びを提供。様々な世代が同じ会場で学ぶ機会。

南紀熊野地域の諸課題に対する地域ニーズの高い内容を反映した**体系的な学びの機会**として設置。

学内の地域研究の成果を授業に編成して開講。

前期は、募集広報に入っていたが新型コロナウイルス感染症拡大のため授業開講を中止。

後期は、本学の対応に準じてオンライン授業にて開講。

紀南地域でのオンライン授業配信をするのは初回となり、受講に不安がある社会人受講生や受講を検討している方を対象に、**募集開始前に「オンライン授業受講準備のための Zoom 接続講習会」**を開催。

自宅等でインターネット環境が整備されていない方も受講できるよう、Big・u 会場に自習室を設けて受講機会を損なわないように配慮した。オンライン授業の中で、社会人受講生、大学生、高校生が画面越しにグループ討議する場もあり、学生は社会人受講生の深い経験や見識を学び、社会人受講生は「学生の新しい思考や見識に刺激を受けた。」と事後アンケートで記載。「貴重な体験になった、やってみると出来るものだ」と自信が持てた。」との感謝の声を頂いた。

また、県教育委員会との連携で実施している**「高校生を対象とした大学授業の公開」**制度を利用する高校生の受け入れもオンラインで継続できた。高校生も和歌山大学の学生や社会人と同じ会場で大学講義を受ける貴重な機会となっている。

後期に開講した授業「現代社会と宗教・心のあつかい方」は、オムニバス形式で開講。現代社会を生きていくうえで抛りどころとなりうる“関わり”や“支え”を「宗教」「人間関係」「物語」をテーマに考察し、背景にどのような現代社会の状況があるのかを学んだ。対人心理では、介護と家族に関する講義があった。「ことば」の哲学では、日本語の成り立ちを知ることで、日本人の思考法にどのような影響を今に及ぼしているのかを考察して自分自身の言葉遣いを通じて考えることを学んだ。「熊野郷土学2C」では、他地域と比較しながら、エコツーリズムをはじめ、ジオパーク、郷土食の活用などを学び、**地域資源の価値をどう地域経営に活かすのか**、また最終回ではコロナ禍後にできることは何かについて議論した。新宮高校から高校生が2名参加した。

「地域づくりの理論と実践」では、実践者を招き、地方創生における農山村の再生手法として注目を集める都市農村交流によるホスピタリティ人材の育成をテーマに掲げて、**農山村における地域づくり**の戦略を学んでいる。受講することで地域での学びの質的变化やキャリア形成に与える影響の教育効果も検証アンケートで調査が実施されている。受講した大学生の地域での**新規就農**や**地域での就業**に繋がっているとの報告もあり**優良な評価**を得て継続設置されている寄附講義である。



Zoom を利用したオンライン授業の様子

## 1-2 主催講座・主催研修会

《和歌山県での実践的な地域経営塾や募集時期に合わせた記念講演を実施》

南紀熊野サテライト連携協議会主催の公開講座&受講生募集説明会を、前期はオンラインにて、後期は田辺市会場にて対面実施。また、地方創生の一助にと和歌山大学観光学部の教員と連携して、西牟婁地域と東牟婁地域にて実施している「南紀熊野観光塾」を継続開催。今期はビッグ・ユー会場にて基礎講習、塾生講習、オンライン講習の3つを同日に3日間かけて実施した。また世界農業遺産を題材にした「サイエンスカフェ」をオンラインで全6回実施。社会人の他、和歌山大学生、南部高校生が参加した。

### ① 南紀熊野サテライト連携協議会主催 公開講座

《R2年度後期 公開講座&受講生募集説明会》

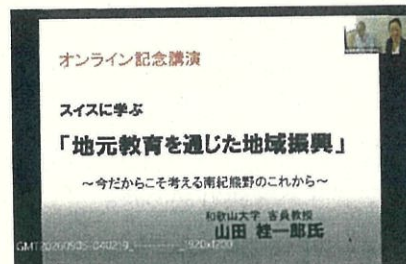
講演名：「和歌山大学南紀熊野サテライトキャンパスオープンセミナー（オンライン）」

開催日：令和2年9月5日（土）13時30分～15時30分 参加 55名

開催形態：Zoom tanabe en+よりライブ配信

内容：オンライン記念講演「スイスに学ぶ 地元教育を通じた地域振興～今だからこそ考える南紀熊野のこれから～」講演者：山田 桂一郎氏（和歌山大学客員教授）

講演内容：急速に変化する次代に適応が求められる昨今、今後暮らしていく地域をどう創造をしていけばいいのか。どのような地域を目指せば住民も訪れる人々も幸せを感じることができるのか。10月に開講する科目の概説と、今後選ばれ続ける地域に必要なことや、郷土学の知識がなぜ地域振興に必要なのかをスイスの教育事情や戦略を事例に持続可能な地域の仕組みにを紹介した。



オンラインオープンセミナー配信の様子（tanabe en+より）

《R3年度前期 公開講座&受講生募集説明会》

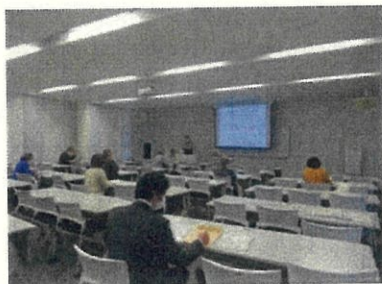
講演名：「和歌山大学南紀熊野サテライトキャンパスオープンセミナー」

記念講演タイトル「男と女の法律学」講師：和歌山大学経済学部 教授 吉田雅章先生 参加無料

日時：3月27日（土）10：00～12：00（開場9：45）

場所：和歌山県立情報交流センターBig・U 研修室2

講演内容：どのような地域に暮らしてもさまざまな問題が発生して、法律と関わりを持たないことはない。地域で暮らすために法律の知識は不可欠で開講予定の講義では「男と女の法律学」をテーマに、結婚と離婚を中心に内容を紹介します。現代は、「バツイチ・バツニは当たり前」という言葉も一般的なため、結婚よりは離婚に重点を説明。日常生活の種々の場面を取り上げて、可能な限り分かりやすく説明し、法律がどのように役に立つかを理解してもらうことを説明した。



対面で実施されたオープンキャンパスの様子（田辺市ビッグ・ユー）

## 1-3 南紀熊野観光塾

《南紀熊野観光塾 第8期を実施》

和歌山県「南紀熊野地域」における、観光産業従事者及び、地域活動者を対象として、「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広める観光カリスマ」の山田桂一郎氏を塾長に、持続可能な地域経営を考えて、自主的に取り組む次世代の観光産業のリーダーとなる人材育成を行うための塾として開講。塾を通して広域連携の人財交流の輪を広げることで持続可能な地域振興を推進することを期待。「選ばれ続ける地域」をモットーに南紀熊野のあるべき姿をみんなで考え魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成している。和歌山大学観光学部生や他大学の学生も参加している。

### ◆南紀熊野観光塾第8期 概要

主催：和歌山大学南紀熊野サテライト、共催：和歌山大学観光学部、株式会社南紀白浜エアポート

後援：和歌山県、一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー

目的：持続可能な地域経営、観光を担う人材育成と塾生同士の繋がりで広域地域の連携を目指す。

構成：塾講義及びグループ討議、講評

コロナ禍のためビッグ・ユー会場にて、感染対策を講じて実施。通常開催より講座内容を短縮して実施。

そのため8期基礎講習は所定の時間数に満たないため修了証の発行せず。

### ◆基礎講習：11月25日（水）9時～17時

対象：自治体職員、観光商工事業者、ガイド、一般住民、学生（全部の回に参加する意欲のある方）

会場：和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー多目的ホールにて実施（田辺市所在）

### ◆塾生講習：11月26日（木）10時～27日（金）17時

対象：塾生、塾生の紹介者、講師紹介者、学生（全部の回に参加する意欲のある方）

会場：和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー研修室にて実施（田辺市所在）

### ◆南紀熊野観光塾「第8期 基礎講習」&「オンライン観光塾」（ライブ配信）

日程：令和2年11月25日（水）

会場：和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 多目的ホール

テーマ：「これからの観光を考える」

塾長：山田桂一郎塾長（和歌山大学客員教授、JTIC SWISS 代表、「観光カリスマ百選」認定、内閣府、国土交通省、農林水産省、総務省地域力創造アドバイザー、内閣府官房「地域活性化伝道師」

講師：藻谷 浩介氏、檜垣 敏氏、森 成人氏、森重 良太氏、和歌山大学観光学部出口 竜也教授、竹林 浩志准教授、教育学部此松 昌彦教授

趣旨：南紀熊野観光塾は、「選ばれ続ける地域」に南紀熊野のあるべき姿を考える塾として開塾。魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成しています。塾では、単に観光を基軸とした地域づくりの先進的な事例を学ぶだけでなく「南紀熊野地域」が抱える諸問題・課題を共有し、顧客に選ばれ続ける地域になるための方策を探るワークショップやセミナーでの意見交換など、塾を通じて各地で活躍しているキーマン同志の新たな繋がりと交流の輪を広げることで地域活性化を推進することを期待。オンライン観光塾は、コロナ禍で県外参加者もオンラインで参加できるように、包括連携をしている株式会社南紀白浜エアポートに協力を依頼して、民間のサイト Peatix から事前決済できる方法で募集した。配信は、同日実施の基礎講習を zoom 利用してライブ配信した。

## 《基礎講習カリキュラム》

「これからの観光を考える」～なぜ、地域振興に観光が必要なのか、今後とるべき戦略とは？～

- ・特別講演（藻谷 浩介氏）9：20～10：10（50分）

『世界から見た南紀熊野のこれからの観光と地域振興を考える』

これからの南紀熊野のあるべき姿とは？そこでの観光の位置づけとは？世界と日本を俯瞰しながら南紀熊野の価値、選ばれ続けるための地域経営のあり方を講演。

- ・塾長講演（山田桂一郎塾長）10：10～11：10（60分）

『選ばれ続ける地域とは？～地域振興になぜ観光が必要なのか～』

激変する時代の中でも生き残る観光のあり方とは？新型コロナウイルスの感染拡大にともなう移動制限や自粛によって観光産業はこれまでにない大きなダメージを受けました。しかし、人々のどこかに出かけたいという欲求は、その本質にかんがみると決して無くなってしまっているものではありません。わざわざ行きたくなる地域の価値とは何なのか？選ばれ続ける地域のあり方を本質からわかりやすく講義。

- ・講師講演（檜垣敏講師@観光庁）11：20～12：00（40分）

『インバウンド・着地型観光・観光地域づくり法人（DMO）の現状と課題』

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、人々は非日常を求めて外国を訪れることが事実上極めて困難な状況になっています。観光による支援策の実例を示すとともに、地域の現状と課題について講演。

- ・昼食 自由時間 12：00～13：00

コロナウイルス感染防止対策の為、室内での飲食・交流はせず、お弁当を配付。屋外で昼食。

- ・講師講演（森重良太講師@南紀白浜エアポート）13：00～13：40（40分）

『空港を起点とした南紀熊野の地域活性化とは？～民営化空港会社による空港型地方創生の挑戦～』

南紀白浜空港が民営化してから約1年半。何が変わったのか？地域はどのように空港を活かすべきなのか？他に例を見ない持続的に選ばれ稼げる地域づくりを目指した「空港型地方創生」の取組みについて紹介。

- ・講師講演（森成人講師）13：45～14：25（40分）

『顧客データベースを活用した自主自立への道～顧客情報を地域でシェアする仕組みと自主財源、自主自立への道～気仙沼の事例』

プロダクトアウト志向から脱却し、マーケットイン志向で商品づくりを行うことが求められています。顧客データベースを構築し、それを活用した商品づくりと地域内経済循環の向上に挑戦する気仙沼の取り組みを紹介した。

- ・論点の整理 竹林講師（山田塾長、檜垣、森、森重、出口）14：40～15：25

講師陣がここまでの論点をトークセッション形式で整理。

- ・コーヒープレイク&個人ワーク

配布されたワークシートを活用し、得た知識を整理するとともに自身の考えをまとめる。

- ・ローカルカフェ（山田塾長、檜垣、森、森重、出口、竹林）

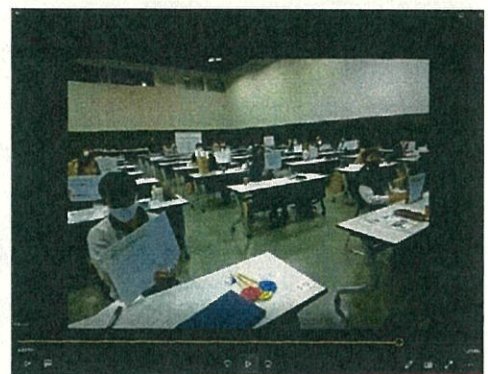
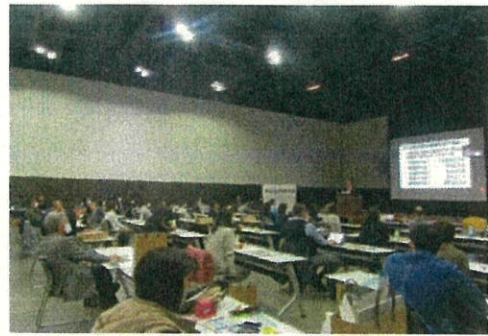
受講生と意見交換。フリップトーク

- ・講師講演（山田桂一郎塾長）16：20～16：50

『次なる一歩に向けて今できることは何か』

カリキュラムを振り返り、ポイントの再整理。どの地域も一事業者の繁栄だけでは、地域を支えることはできず、楽しく暮らせない地域からは人口が流出する。そこが幸せを感じられる地域でなければ持続可能な取り組みは結実しない。あらためて持続可能は地域経営のあり方を「4方よし」で考える内容を講演した。 ・閉塾式 16：50～17：00





講演の様子

オンラインLive配信の様子

◆南紀熊野観光塾 第8期 塾生講習

日程：令和3年11月26日（木）10：00～18：00  
 11月27日（金）10：00～17：00

会場：和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー研修室4・ネットワーク実習室

塾長：山田桂一郎塾長（和歌山大学客員教授、JTIC SWISS 代表、「観光カリスマ百選」認定、内閣府、国土交通省、農林水産省、総務省地域力創造アドバイザー、内閣府官房「地域活性化伝道師」）

講師：出口竜也（和歌山大学観光学部観光学科教授）竹林浩志（和歌山大学観光学部観光学科准教授）此松昌彦（和歌山大学教育学部科学教育教授）檜垣 敏（観光庁）

森 成人（じゃらんリサーチセンター（JRC）研究員気仙沼市復興アドバイザー）

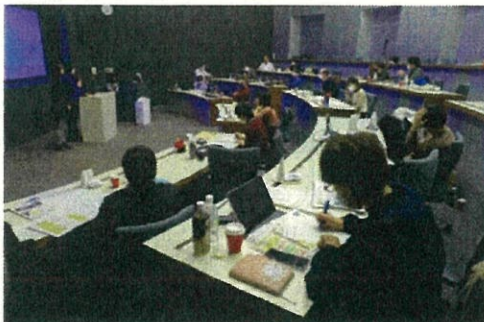
永山卓也（Google マイビジネスプラチナプロダクトエキスパート）

多田穂子（一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー会長）

森重良太（株式会社南紀白浜エアポート誘客・地域活性化室長）

<定員・参加費>定員：8組16名

対象は観光塾修了生が含まれる複数名のチーム、個人。全ての回に参加可能な者



会場の様子



分科会の様子

#### ◆南紀熊野観光塾 同窓生活動報告&交流会（オンライン開催）

概要：1期生から7期生の塾生を対象に交流会を開催。塾後の活動を報告。意見交換。今後の活動に繋げることを目的に実施。持続可能な地域の観光を考えて、自主的に取り組む次世代の観光産業のリーダーとなる人材育成を行うための塾として開講。同窓生の交流を通して広域連携の人財交流の輪を広げることで持続可能な地域振興を推進することを期待。毎年秋頃に開催している。今期はコロナ禍のためにオンラインで実施。

塾生3名が活動報告をして近況の取り組みに関してアドバイスをし合い、意見交換を実施した。

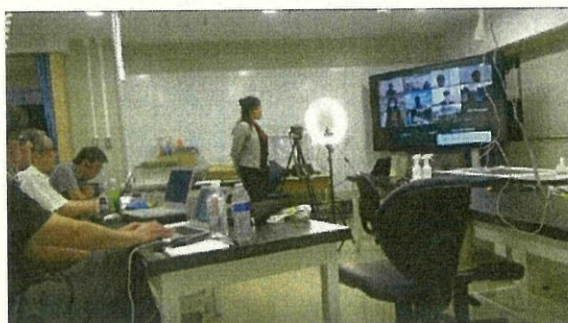
日時：令和2年9月4日（金）17：30～19：00

形態：Zoom 和歌山大学栄谷キャンパスからライブ配信 参加：23名

目的：持続可能な観光を担う人材養成と塾生同士の繋がりで広域地域の連携を目指している。

内容：観光塾生の活動報告と講評（次年度の取り組みに繋げる）

塾長、講師からの講評の後、塾生意見交換会をオンラインで開催。学生も陪席で聴講。



オンライン活動報告会配信の様子（和歌山大学栄谷キャンパス教育学部棟より）

9月1日：オンライン授業受講準備のための zoom 接続講習会 参加15名

後期受講希望者を対象にオンライン授業で利用する zoom の利用に関して講習を実施

9月2日：オンラインサイエンスカフェ 「ことば」の哲学～遠くて近きは男女の中～」

講師：天野雅郎和歌山大学教授・図書館長 企画運営 南紀熊野サテライト

zoom ミーティングを利用したサイエンスカフェ 参加20名

11/28 オンライン「地域カフェ」19:00～20:30 参加 15 名 白浜町好日庵

講師：教育学部此松昌彦教授、ゲスト講師：此松武彦氏

(13:00-17:00「熊野郷土学2C」の授業後に場所を変えて実施)zoom meeting 利用

内容：オンラインサイエンスカフェを古民家ゲストハウス(塾修了生所有)で配信

全国から一般募集の参加者やゲストハウス経営者等が参加。話題提供の後に意見交換。

1月～3月 世界農業遺産サイエンスカフェ（オンライン）月2回程度 ※企画詳細は別紙資料

## 【2】生涯学習、高大連携部門

### 2-1 生涯学習関係／講座・セミナー

《地域課題に寄り添う取り組みに参画》

地域の「林業」と「教育」を結び「木育」の事業開催を継続支援。

事業名：「木の国わかやま 木育キャラバン in 田辺市」

実施日：令和3年2月27日（土）、28日（日） 1部 10：00～12：00 2部 14：00～16：00

場 所：和歌山県立情報交流センターBig・u 多目的ホール

主催等：わかやま木育キャラバン実行委員会

参加：森林管理事業者、木材加工事業者、保育士や小学校教諭等の教育関係者、研究者、地域住民等

内容：和歌山県に於いて、近年、徐々に関心が高まりつつある「木育」の取り組みを継続支援。来場者アンケート等を実施して木育の教育効果や地域振興を、県内の川上（森林業）から川中（加工事業者）、川下（教育（主に保育関連）等の様々な分野から我が県に於ける今後の取組を考える機会になるか調査している。林業の衰退と共に担い手不足や高齢化が進むなか、郷土の誇りを高める木育の取り組みに期待が高まっている。木の国に生まれ育つ子供たちの健全な育成や親子の語らう時間の創出を目指して開催し、地元産業への関心を高め、今後の産業と教育分野の幅広い連携を目指す機会として参画している。会場では、観光塾生が商品化した木工キット（和歌山大学のキャラクターわだにゃんも登場するスマホホルダー）や和歌山大学生教育学部高橋ゼミの学生が作成した紀州材コマキットの出展もあった。関係団体との連携機会になった。



木育フォーラムの会場の様子



地域企業や森林組合などと連携した取り組みに参画



### 【3】地域研究／本学授業講義支援／学生、同窓会活動支援

#### 3-1 地域研究関係

〈学内の研究プロジェクトや教職員の地域活動の支援、学生の現地活動の支援を実施〉

木育研究の取り組みを継続支援。コロナ禍で田辺市大学地域づくり事業等への学生の参画は今回は無し。継続の取り組みとして紀伊民報マルチメディア事業部と「ローカルナレッジ研究会」に参画。紀南地域の高校の教諭等とICTを活用した教育研究を推進する手法を研鑽している。

南部高校と連携した演習を実施(梅農家での選定作業等)

引率教員：観光学部出口先生、学生7名

**12/9(水) 世界農業遺産 高城中学校の農業遺産総合学習への参加、梅システム空撮**

**内容:** 農業遺産総合学習報告会を聴講後、今後の地元知の継承について意見交換  
その後、元サーキット計画場跡地であるみなべ 100 年の森自然再生地にて晩秋期の空撮  
作業に同行。町有地で自由利用が可能であることから、今後ウバメガシ中心とした植樹啓  
発イベントの継続、ニホンミツバチ研究や空撮訓練場所などの活用を関係者と意見交換  
引率教員: システム工学部原先生

**12/18(金) 木の国わかやま木育事業実行委員会 16:30~18:30 西牟婁振興局総務県民課事務局**

**内容:** 県内の木育事業推進 担当: 西牟婁地域青少年育成市町民会議連絡協議会議  
昨年度の研究事業「木の国わかやま」における木育活動の効果的な普及と紀州材活用  
促進(わかやま高等教育コンソーシアム)研究の後、継続して県内の木育事業に協力中

**3-2 本学授業、学生との連携・支援**

《学生の調査や研修時に、地域情報を紹介するなどの活動支援を実施》

南紀熊野地域でのフィールドワークや、各種企画の相談や現地調整等、教員や学生の地域での教育研究の現地支援を実施した。コロナ禍の感染状況に配慮しながら、観光学部のみなべ町での地域演習の受け入れを支援した。みなべ町では梅の選定や炭焼き小屋の見学を行なった。後日に演習成果を学生等が纏めてローカルウィキを活用して、オープンデータとしてネット記事に編集して発信した。



みなべ町での学生演習の様子

**9月11日:** みなべ高等学校長、まちキャンパスプロジェクト代表上野氏と打ち合わせ

同行: 観光学部出口先生(世界農業遺産ジュニアマイスター育成と高大連携の相談)

**9月15日:** オンライン木育事業実行委員会会議 16:30~18:30 西牟婁振興局総務県民課事務局

**9月17日:** グリーンサマル木質バイオマス発電所営業開発部課長鈴木仁士氏と打ち合わせ

同行: システム工学部原先生(施設見学、寄稿取材、世界農業遺産次年度の相談)

## 【4】地域連携・産官学連携部門／地域からの相談／広報活動

### 4-1 大学との地域の連携・協働推進

《企業や自治体、教育関係からの相談対応や事業協力、活動支援を実施》

地域課題解決に向けて学内外の連携、協働を推進。南紀熊野ジオパーク推進協議会と包括連携。

今までの紀南地域での取り組みを活かして、継続して紀南地域でのジオパーク活動を推進に協力する。



包括連携の様子

### 4-2 きのくに活性化センターとの連携

《きのくに活性化センターの会議や研究調査活動に参画》

きのくに活性化センターと連携して、地域課題や地域資源の活用から地域振興に取り組んでいる。

今期は会議の委員として参加のみ。コロナ禍での活動はしていない。きのくに活性化センターの概要は、田辺、新宮両広域圏市町村組合（紀南地方全自治体）や田辺、新宮商工会議所、JA 紀南、和歌山県、和歌山大学（南紀熊野サテライト）の参画による調査研究機関として紀南地方の諸課題に関するリサーチや相談窓口の役割を担い、地域の価値をブラッシュアップする事業を提案している。



きのくに活性化センター運営会議



ニュースきのくに

### 4-3 大学広報・情報提供関係

《入試広報物の配架や、学内部局と連携した情報発信》

大学の入試情報や学生募集要項の他に、大学の雰囲気や学生生活が伝わる学生広報グループ情報誌やオープンキャンパス、主催講座チラシ等の配架や、学内広報室と連携して大学内のサークル紹介や活動の動画を配信できる「デジタルサイネージ」を継続的に設置。教員免許状講習冊子や受講生の活動のリーフレットも配架。受講者募集チラシには、QRコードを付して情報がとりやすくするなど情報発信に工夫をした。



教員免許状更新講習募集要領冊子の配布



申込メール QR コードを付けたチラシ

## ■寄稿、論文

- ・柑芦会(経済学部同窓会)会報誌「柑芦わかやま42号」  
南紀熊野サテライト通信を寄稿
- ・和歌山大学観光学会「観光学」第23号 地域に学ぶ観光教育・研究の実践  
実践論文85～93頁 令和2年9月 古久保綾子・中串孝志  
「ジオカフェ:研究者と住民をつなぐ科学コミュニケーション活動を通じた地域貢献の可能性」



活動成果を論文や季刊誌に投稿

## 【5】本学防災対策本部分室の活動

5-1 台風12号対策(本学対策本部分室の活動)分室解除後も減災、防災研究は継続実施。

〈防災関連の学内の講演会の周知広報や、防災研究を推進〉

平成23年東日本大震災・紀伊半島豪雨災害支援対策本部の分室として、南紀熊野サテライトが位置付けられ、その後に学内研究調査のプロジェクトの現地支援や共同研究、研究報告会の現地支援、広報活動等を継続して実施。現在は分室は解除されているが紀南地域での防災シンポジウムの広報支援や他大学と連携した観光地防災等のアンケート調査の実施を支援している。今期はコロナ禍のためになし。

## 【6】運営基盤の強化/視察受入等

6-1 大学間連携

〈県内コンソーシアム事業への参画や、全国の大学教職員を対象とした地域連携コーディネーター研修の開催支援を実施〉…今期は実施せず。

県内コンソーシアムでの研究推進や、支援を実施。また和歌山大学では地域連携に関わる教職員・コーディネーターの人材育成、大学と地域の発展に向けた輿論づくり、地域型サテライトへの着目の3点を目的に地域と大学を繋ぐコーディネーターのため研修を毎年実施。今期はオンラインで実施されたが参加できず。大学の地域連携に關与する担当者との交流の場になっている。

## 6-2 南紀熊野サテライト運営基盤の強化に向けて

《南紀熊野サテライト連携協議会企画運営委員等と「みらい戦略第三期計画」進捗確認》

「地域の知の拠点」として授業開催の機会提供だけではなく、紀南地域をフィールドとした「課題解決・地域価値創造」に資する教育・研究・実践の発展を目的としたみらい戦略第三期アクションプラン策定のために具体的な案を企画委員等と進捗確認をしながら運用している。15周年を機に、経年で実施しているニーズ調査アンケートを実施（地域住民、自治体職員、大学教員、同窓会を対象）（他大学に関しては実施せず）調査結果をもとに、第三期計画の項目と未達成項目などの策定プランの分析を行い第四期計画の策定を次年度に実施予定。地域での更なる基盤強化、情報連携を進めて活動を推進するために企画運営委員や南紀熊野観光塾生、受講生、地域住民と日常的に意見交換の機会を持ち取り組みに活用。

12/初旬 連携協議会企画運営会議 書面決済 議案:南紀熊野サテライト 15周年  
ニーズ調査アンケート実施準備 12月中頃～2月に順次実施

## 6-3 南紀熊野サテライト視察の受け入れ、研修参加

《他大学の視察の受入や学内教職員の視察受入を実施》

他大学からの視察受け入れや研修会、シンポジウムの参加、意見交換会への参加を行い学外の実践者との意見交換を行った。他大学からの視察の受け入れの他、連携手法の活用事例等のセミナーに参加した。

12/4(金) 静岡大学 地域創造教育センター長 阿部耕也氏 視察対応  
内容:和歌山大学南紀熊野サテライト設置経緯、活動内容、課題と今後  
地域での学生の交流活動事例や半島振興のサミットの開催に関して意見交換  
随員:村田先生 他2件はコロナ禍で視察中止。

視察や研修の様子

## 6-4 会議運営・他サテライトとの交流会、和歌山大学の最前線拠点として

《各種の会議運営や、和歌山大学・南紀熊野サテライトの情報発信を実施》

- ①オフィス会議、南紀熊野サテライト連携協議会総会、幹事会、企画運営会議の会議運営を担当。
- ②和歌山大学の全学の最前線拠点、情報拠点として大学案内・入試案内・各種大学事業、地域情報提供を行うと共に南紀熊野地域の知の拠点として、教育研究事業への参画・連携、情報発信等の諸活動を実施。
- ③教育研究事業の地域での成果報告や活動成果の情報発信を実施。
- ④和歌山大学南紀熊野サテライト連携協議会みらい戦略第三期計画アクションプランの進捗管理を実施。



南紀熊野サテライト連携協議会 総会の様子

以上

## あしがき

コロナ禍ではありましたが、今年度もサテライト事業の展開、企画遂行、地域連携事業が多岐にわたり、さまざまな成果に繋がりました。受講生の皆様、地域の皆様、学内の皆様、連携協議会関係者の皆様の温かいご支援があつて実施されたものです。皆様に厚く御礼を申し上げます。今後も「地域と融合する大学」の実践に向けて、地域での様々な取り組みを実施致します。

和歌山大学南紀熊野サテライト



南紀熊野サテライト事業総括 報告書 2020年度  
2021年（令和3年）3月発行

国立大学法人 和歌山大学 南紀熊野サテライト  
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102  
和歌山県立情報交流センターBig・u内  
TEL：0739-23-3977 FAX：3978  
E-mail：nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp  
HP：http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/



◇受講生募集要項、チラシ

◆令和2年後期 受講生講習会、オープンセミナー（オンライン）

同窓会のみなさまへお知らせ

## オンライン授業受講準備のための zoom 接続講習会

Zoom 接続講習会

開催日時: 9月1日(火) 10:00~12:00

場所: 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 研修室2

対象者: 同窓生、関係機関、要請を被付されている方

定員: 20名 (事前・完全予約制)

持ち物: 必ず各自要請に利用する予定のパソコンやタブレットを持参ください

内容: (全体的講習) Zoom で出来ることを説明  
各自持ち込みのパソコンに zoom アプリをインストールする方法  
(実習) 実際に各自のパソコン、タブレットで zoom に接続してみよう!

申込方法: 問い合わせ先 申込書の提出が必要です。メールお申込 QR コード

申込書: 氏名、連絡先(住所・電話番号)を記入の上お申し込み用紙に貼付してください。  
申込期間: 令和2年9月2日(水) 12:00 まで (先着順、定員に達した場合は締切となります)

申込先: 和歌山大学 南紀熊野サテライト  
〒646-0011 和歌山県熊野郡新宮町 3153-9 和歌山県立情報交流センター ビッグユー 102号 TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978

お申し込み先 FAX: 0739-23-3978 締切: 8月29日(土)12:00 締め切り厳守

お名前:	年齢:	性別:	業・学:	電話番号:
ご住所:	FAX 番号:			
職:	電子メール:			

※お申し込みの際は、お申し込み用紙に「お申し込みの旨」を明記し、必ずお申し込みください。  
お申し込み、お申し込みの受付は、お申し込み用紙に記入された住所までお送りいたします。

会場: 和歌山大学 南紀熊野サテライト

「Zoom 接続講習会」参加人数: 10名

## 9月4日 南紀熊野観光 情報交流会のご案内

開催日時: 令和2年9月4日(金曜日) 17:30~19:00(受付: 17:15開始)

内容: オンライン(大学から zoom 配信予定)  
第7期観光学生の中から応募いただいた2~3名の観光学生が、観光と地域の関係をテーマに発表を行います。その後に、オンラインですが、関係機関との意見交換を行います。

申し込み: 9月3日(木) 17:00 まで

申込先: 和歌山大学 南紀熊野サテライト  
〒646-0011 和歌山県熊野郡新宮町 3153-9 和歌山県立情報交流センター ビッグユー 102号  
TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978

お申し込み先 FAX: 0739-23-3978 締切: 9月3日(木)17:00

お名前:	年齢:	性別:	業・学:	電話番号:
ご住所:	FAX 番号:			
職:	電子メール:			

「南紀熊野観光学生交流会」参加人数: 23名

和歌山大学 南紀熊野サテライト キャンパス

## Open Seminar science cafe 開催

オンライン 参加無料 先着20名

### 「ことば」の哲学 ~遠くて近きは男女の中~

講師: 天野雅郎氏 和歌山大学教授・愛書館長

開催日時: 9月2日(水) 10:30~12:00

会場: オンライン (zoom)

申込方法: 問い合わせ先 申込書の提出が必要です。メールお申込 QR コード

申込書: 氏名、連絡先(住所・電話番号)を記入の上お申し込み用紙に貼付してください。  
申込期間: 令和2年9月1日(火) 12:00 まで (先着順、定員に達した場合は締切となります)

申込先: 和歌山大学 南紀熊野サテライト  
〒646-0011 和歌山県熊野郡新宮町 3153-9 和歌山県立情報交流センター ビッグユー 102号  
TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978

お申し込み先 FAX: 0739-23-3978 締切: 9月1日(火)12:30

お名前:	年齢:	性別:	業・学:	電話番号:
ご住所:	FAX 番号:			
職:	電子メール:			

「オンラインサイエンスカフェ」参加人数: 19名

和歌山大学 南紀熊野サテライト キャンパス

## Open Seminar オープンセミナー開催

オンライン 参加無料 先着40名

### スイスに学ぶ 地元教育を通じた地域振興

講師: 山田 桂一郎氏 和歌山大学准教授

開催日時: 9月5日(土) 13:30~15:30

会場: オンライン

申込方法: 問い合わせ先 申込書の提出が必要です。メールお申込 QR コード

申込書: 氏名、連絡先(住所・電話番号)を記入の上お申し込み用紙に貼付してください。  
申込期間: 令和2年9月3日(木) 17:00 まで (先着順、定員に達した場合は締切となります)

申込先: 和歌山大学 南紀熊野サテライト  
〒646-0011 和歌山県熊野郡新宮町 3153-9 和歌山県立情報交流センター ビッグユー 102号  
TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978

お申し込み先 FAX: 0739-23-3978 締切: 9月3日(木)17:00

お名前:	年齢:	性別:	業・学:	電話番号:
ご住所:	FAX 番号:			
職:	電子メール:			

「オンラインオープンセミナー」参加人数: 55名

◆令和2年オンラインカフェ

「オンライン地域カフェ」参加人数：13名

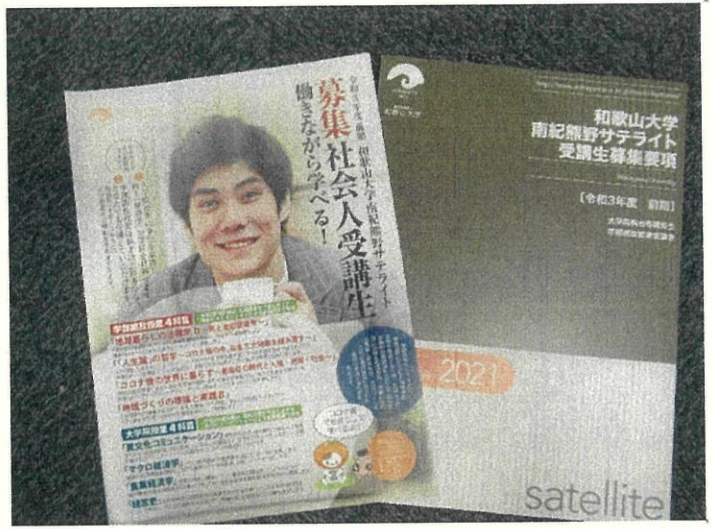
◆令和3年前期 オープンセミナー

「オープンセミナー」参加人数：11名

◆令和2年度後期 募集要項



◆令和3年度前期 募集要項



配付場所：ビックユー、市役所・町役場（田辺市、新宮市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町、串本町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村）、田辺市内図書館、新宮市立図書館、各市町村公民館、商工会議所、JA 紀南各店舗、教育委員会、高校、中学校、小学校、和歌山県、紀陽銀行、新宮信用金庫、地域拠点他、和歌山大学等

**応募要項** 申込書への記入事項と併用

**塾生募集は40名様**  
 ◎専攻が異なる場合は抽選となります。ご了承ください。  
 ◎募集対象：全てのキャリアアップに参加可能な方、高校生以上の方。  
 ◎教材費、昼食代、教材費等、実費1,000円程度をご準備ください。  
 ◎前払金としてお申し込みのうえに実施させていただきます。1日限りの実施のため定員は先行させていただきます。抽選後に受講証明書を発行します。  
 ◎当日開始の時間、時間がない場合は会場までお越しください。  
 ◎会場では、機嫌と体調調整を行いますのでご協力ください。  
 ◎前日は、株式会社南紀観光エアーポートによるZoom配信のオンライン受講を推奨いたします。  
 ◎オンライン参加のご案内は、抽選後ウェブサイトが確定後にお知らせいたします。  
 ◎当日の会場に参加は抽選後現地での決定となります。  
 ◎抽選日より記載の内容は変更されることもございます。予めご了承ください。  
 ◎全大学生で参加をご希望の方はお問い合わせください。

**会場アクセス** 和歌山大学南紀熊野サテライト会場

〒646-0011 和歌山県田辺市南津庄1353-9  
 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー  
 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー  
 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー  
 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー  
 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー



**オンライン参加のご案内**

オンライン参加は、株式会社南紀観光エアーポートとの連携で実施します。  
 ◎WEB会議サイト「Think」リンク先：http://think.com/event/1709032  
 ◎Zoomアプリのインストールが必要です。Zoomのインストールは、下記URLからダウンロードしてください。  
 ◎Zoomのインストールは、下記URLからダウンロードしてください。  
 ◎Zoomのインストールは、下記URLからダウンロードしてください。

**全期2年 南紀熊野観光塾【基礎講習】費用申込書** 11/20(金) 17:00締切

※お申し込みは、お申し込みのうえに、FAXまたは応募用紙に記入の上にお申し込みください。

名前	所属	性別	男・女
お名前	所属	性別	男・女
電話番号	年齢	性別	男・女
住所(必須)			

※申し込み用紙または電子メール(必須) ※申し込み用紙を送付します。

※お申し込みいただいた場合は締切前でも募集を中止します。上記は参考用です。申し込み後の変更はできません。

**オンライン参加の申込書** ※申し込みサイトのご案内を電子メールでお送りします。

名前	所属	性別	男・女
お名前	所属	性別	男・女
電話番号	年齢	性別	男・女
住所(必須)			

※申し込みサイトへのリンク情報を送付します。

※お申し込みいただいた場合は締切前でも募集を中止します。上記は参考用です。申し込み後の変更はできません。

**お問い合わせ先**

和歌山大学南紀熊野サテライト  
 TEL: 0739-23-3977 FAX: 0739-23-3978  
 E-mail: nanku@ml.wakayama-u.ac.jp

和歌山大学南紀熊野サテライト 検索 <http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>

NANKI-KUMANO-KANKOJUKU

# 南紀熊野観光塾 vol.8

～いま、求められる観光人材を育て、次世代の地域経営～

令和2年開塾  
 南紀熊野観光塾長：山田 桂一郎

## これからの観光を考える

～なぜ、地域振興に観光が必要なのか、今後とるべき戦略とは？～

### 第8期生 募集【基礎講習】40名

**会場** 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 多目的ホール  
 〒646-0011 和歌山県田辺市南津庄1353-9

**日程** 基礎講習 令和2年 11月23日(水) 9:30～17:00  
 申込み締切日 令和2年11月20日(金) 17:00  
 申込受付 申込み締切日 令和2年11月20日(金) 17:00  
 募集定員 40名(男女別) ※抽選による

**このご参加は、南紀熊野地域に在住の方限定 先着40名**

「南紀熊野観光塾」は、和歌山県立情報交流センタービッグ・ユーが主催する、観光分野の専門知識を習得し、地域振興に貢献できる人材を育てることを目的とした、南紀熊野地域に在住の方限定の研修プログラムです。令和2年11月23日(水)9:30～17:00に開催される「基礎講習」は、観光の基礎知識を習得し、地域振興に貢献できる人材を育てることを目的とした、南紀熊野地域に在住の方限定の研修プログラムです。

次の方々にお勧めの塾です。

観光関係者	観光関係者	観光関係者	観光関係者
観光関係者	観光関係者	観光関係者	観光関係者
観光関係者	観光関係者	観光関係者	観光関係者
観光関係者	観光関係者	観光関係者	観光関係者

主催：和歌山大学南紀熊野サテライト 共催：和歌山大学観光学部 株式会社南紀観光エアーポート  
 後援：和歌山県 一般社団法人和歌山観光コンベンションビューロー

南紀熊野観光塾 第8期 【基礎講習】 令和2年11月25日(水) 9:10～17:00  
 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 多目的ホール

11/25 「これからの観光を考える」  
 ~なぜ、地域振興に観光が必要なのか、今後とるべき戦略とは？~

**午前部 (9:10～12:00)**

9:10～9:40 開塾式  
 開塾式 和歌山大学観光学部 教授 山田 桂一郎

9:40～10:10 特別講演  
 「国界から見た南紀熊野のこれからの観光と地域振興を考える」  
 講師 山田 桂一郎

10:10～11:10 観光講演  
 「開拓される地域とは？」～地域振興に観光が必要なのか～  
 講師 山田 桂一郎

11:10～11:40 質疑応答  
 「インバウンド・基地観光・観光地づくり法人(DMO)の現状と課題」  
 講師 山田 桂一郎

12:00～12:30 昼食 貴賓の下でお弁当

**午後部 (13:00～17:00)**

13:00～13:30 開塾式  
 「空港を起点とした南紀熊野の地域活性化とは？」  
 講師 山田 桂一郎

13:30～14:00 観光講演  
 「観光データベースを活用した自主自立への道」  
 講師 山田 桂一郎

14:00～14:30 観光講演  
 「観光地づくりのマーケティングが重要なのか？」  
 講師 山田 桂一郎

14:30～15:00 個人ワーク  
 コーヒーブレイク & 個人ワーク

15:00～15:30 ローカルカフェ  
 ローカルカフェ 丹波地バージョン フリップトーク

15:30～16:00 観光講演  
 「次なる一歩に向けて今できることは何か」  
 講師 山田 桂一郎

会場参加は南紀熊野地域の方限定です。

**講師紹介**

山田 桂一郎 和歌山大学観光学部 教授

山田 桂一郎 和歌山大学観光学部 教授

山田 桂一郎 和歌山大学観光学部 教授

**「南紀熊野観光塾」塾生紹介**

和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 多目的ホール

和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 多目的ホール

和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 多目的ホール

**「南紀熊野観光塾」講師紹介**

和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 多目的ホール

和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 多目的ホール

和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー 多目的ホール



**夏休みの自由研究「こうさく体験」!**  
 夏休み自由研究、お題がなくて悩む方、夏休みの自由研究のアイデアがほしい方、是非参加ください!

ついに出た! スマホがあれば参加できる! 安心! オンライン木工体験会!

**夏休みの工作! 親子でたのしもう!**  
**お家で木工体験!**

**TAKE OUT**

**参加方法**  
 1. 8月8日から23日の期間、「木工キット」をネットに入れる!  
 減価して必要な道具を購入する!  
 2. イベントページから動画をみながら好きな時間に  
 お家のひとと楽しく作りたえ!

**イベント期間**  
 8月8日~8月23日  
 会場: オンライン体験会会場  
 木工キットを持ってきてください

**お宝のありがたみは この2カ所!**

8/8、8/9  
 8/10~8/23

1. 木工キット販売期間 価格は材料費だけ  
 2. オンライン体験会期間 動画8月23日まで

お申し込み先メール  
 木の国わかやま木工体験会事務局  
 kinokuniwakayama@nifty.com

作り方の詳細は、商品のQRコードから動画配信サイトに確認ください。

**TAKE OUT**

1. 1000円  
 2. 2000円  
 3. 6000円  
 4. 500円  
 5. 1500円  
 6. 600円  
 7. 300円  
 8. 1000円  
 9. 600円

10. 1000円

※商品のキット内容や内容は変更することもあります。ご了承ください。

木工事業「オンライン木工体験会」2020年8月8日~8月23日 (木工キット販売: 8/8~8/23)

**木の国 わかやま オンラインで配信**

**木育キャラバン**  
 in 田辺市  
 紀の国わかやまを再び「木の国」に!!

**オンラインで動画配信あり! 木育ワークショップ材料配布会場**

日時 2021年 2/27(土)・28(日) 10:00~12:00 / 14:00~16:00  
 会場 和歌山県立情報交流センター Big・U

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2021年度わかやま木育キャラバンのおもちゃ美術館とワークショップの開催は中止いたしました。

※入場事前申し込み方法は、上記申込フォームより必要事項をご記入の上、登録をお願いします。

※本会の目的は、木育の普及と、木育の推進にあり、お家でできる木育キットが材料費のみで販売いたします。下記の各コートから、動画配信の開催を希望する方は、事前に申し込みをお願いします。

木の国わかやま木育キャラバン実行委員会

TEL 0739-22-2605 (株)山形商店 平日10時~17時

木工事業「木の国わかやま木育キャラバン in 田辺市」2021年2月27日・28日 場所: 県立情報交流センターBig・U

